

鉄道高架橋工事で実施している対策

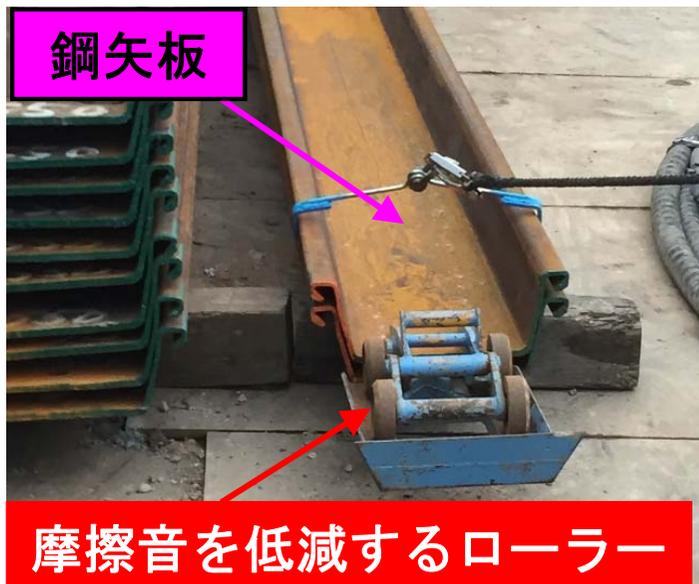
極力、昼間施工とし、夜間と比べ体感的な騒音振動の低減を図っています。

一部の仮設工事を夜間に行うため、25tラフタークレーンの稼働音や鋼矢板の摩擦音などが発生します。

鋼矢板の摩擦音を低減するローラーや防音シート等による騒音対策、防振ゴムや防振マット等による振動対策を行っております。

運転手の合図は無線使用を徹底し、肉声による騒音も低減しています。

鋼矢板建込み時の騒音対策



使用機械の防振マットによる養生



仮線路工事で実施している対策

仮線路工事は、ほぼ昼間工事にて施工できます。

仮線路への電車運行の切替により発生する騒音振動を低減するため、長尺レールの採用や遮音板の設置などを行っています。

特に、民家等に近い箇所には防音性の高い特殊遮音板を採用し、騒音対策を徹底しています。

さらに、当該区間は徐行で電車を運行し、騒音振動の低減を図ります。

遮音板設置による騒音対策



特殊PVC製遮音板による騒音対策



矢印方向から
見た断面

雑餉隈駅部の工事で実施している対策

駅部の工事は、基本的に電車の運行が終了した夜間での施工となり、約6年間という長期間、同じ箇所でも工事が続くこととなるため、他の箇所にも増して、徹底した騒音振動対策が求められます。

また、他の箇所と同様の騒音振動対策に取り組むとともに、さらに使用機械の防音シートによる養生、設置可能な箇所には防音性の高い特殊遮音板の設置、高圧受電設備使用による発電機の除去等にも徹底して取り組んでいます。

使用機械の防音シートによる養生



高圧受電設備使用による発電機の除去

